

ミラノと
イタリアの
美しい町々

Winter
2025

日本のものづくり
沖縄
美しいクルーズ

WINTER Traveller

美しい町々 ミラノと 北イタリアの

La Bella Vita

創造を語る街 ミラノ／山の社交場 コルティナ・ボルミオ／
森の宝石、大地の風味 ピエモンテの豊穡／
リヴィエラの古都、誇り高き港町 ジェノヴァ／
中世ルネサンスの芸術の路 パドヴァ・マントヴァ・ヴェローナ

A fruitful wineries

一大産地、北イタリアワインを 謳歌するためのトピックス

スパークリングワインで有名なフランチャコルタ地方をはじめ、優れたワイナリーが
集中している北イタリア。様々なアプローチから楽しめる注目トピックスを集めた。

文=高橋 恵(p.80-81)、田中美貴(p.82-83) 写真=Stefano Triulzi(p.83)



「カ・デル・ボスコ」のブドウ畑では、昔ながらの手作業による収穫が行われている。
ワイン製造分野では機械化が進むが、ぶどうは一房ひと房、目で確かめて選別しながら収穫される。



1 「フランチャコルタ」の産地エルブスコにある「カ・デル・ボスコ」は、280haの広大なブドウ畑を所有。2 カ・デル・ボスコ社のマウリツィオ・ザネッラ社長は、アートとチャレンジを愛するエネルギーな人柄。



ロンバルディア州

現代アートとともに、 名ワインを味わう特別体験

ミラノから東に向かい車を走らせること1時間。イタリアが誇る最高級スパークリングワイン、フランチャコルタのワイナリー「カ・デル・ボスコ」を訪ねた。このフランチャコルタをけん引するワイナリーが、美術館さながらに現代アート作品を飾り、彫刻の芸術賞まで設立したと聞き及んだからだ。

敷地には、マウリツィオ・ザネッラ社長が好む大型彫刻が15点飾られている。セラーに宙づりにされたサイの彫刻が突如出現したときの驚きが想像できるだろうか？ 彼は彫刻を飾る理由をこう説明する。「まず、ここが彫刻を置くにふさわしい景観であったこと。そして、嗅覚、味覚、視覚を伴う立体的な作品『ワイン』と、視覚を刺激し五感に働きかける『彫刻』との間に類似性を見出したからだ」。アートは、1980年代からこのワイナリーの発展に貢献してきた。ワインに関する文化的アプローチを進めていく中で、芸術に造詣が深い人々と親交を深め、人脈を築ききっかけとなった。「ワインは天啓によって神とともに造り上げるもの。ワインもアートも自然で自発的なものだ」と語る彼。ここは、この2つが深く交わる唯一のワイナリーなのだ。



セラーの入り口に突如出現する宙づりのサイ。ステファノ・ボンバルディエリ作《中断された時間の重み》(2003年)。



3 ワイナリーは緑鮮やかな庭園に囲まれ、彫刻が点在する。イゴール・ミトライ作《光のヒーロー》(1991年)



4 屋根の上からブドウ畑を見守る青い狼の群れ。クラッキング・アート作《ブルー・ガーディアン》(2010年)



Ca' del Bosco カ・デル・ボスコ

DATA Via Albano Zanella 13, Erbusco

☎030 7766111 cadelbosco.com/it

●ワイナリーツアーなどで来訪する際にはHPから事前予約を



5 ぶどう洗浄システム「ベリースパ」を独自に開発。これにより洗練の味わいを生み、酸化防止剤の使用量を抑えられる。6 岩盤をくりぬいた石造りの熟成庫。毎日全ての瓶を少しずつ回転させ、酸を瓶の首に集めていく。